

アピールポイント

私達は悪性黒色腫という腫瘍に対して、マイクロRNAを用いた新しい治療法を試みています。悪性黒色腫は犬にも人にも発生する極めて悪性度が高い腫瘍で、まず犬での治療を目指し、最終的には人での応用を目指しています。

研究概要

1 悪性黒色腫とは

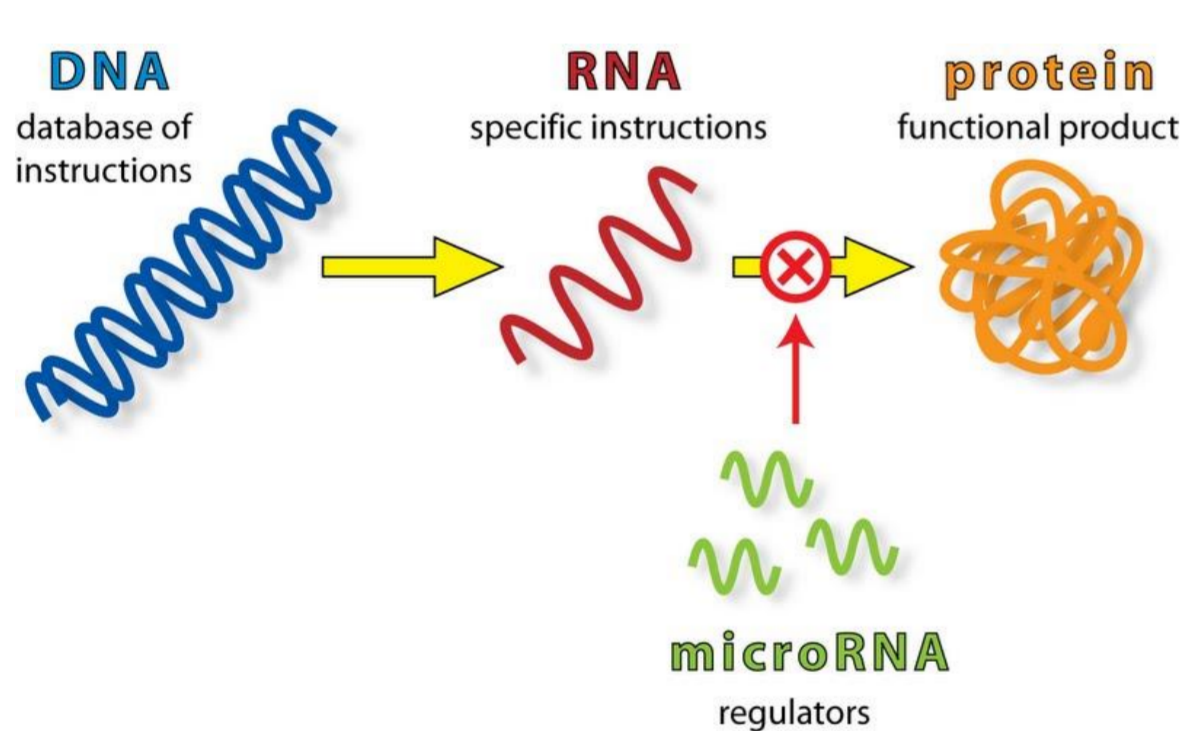


犬の口腔内などに発生する極めて悪性度の高い腫瘍で、人の皮膚にも発生します。現在有効な治療法がありません。

3 マイクロRNAでがん治療

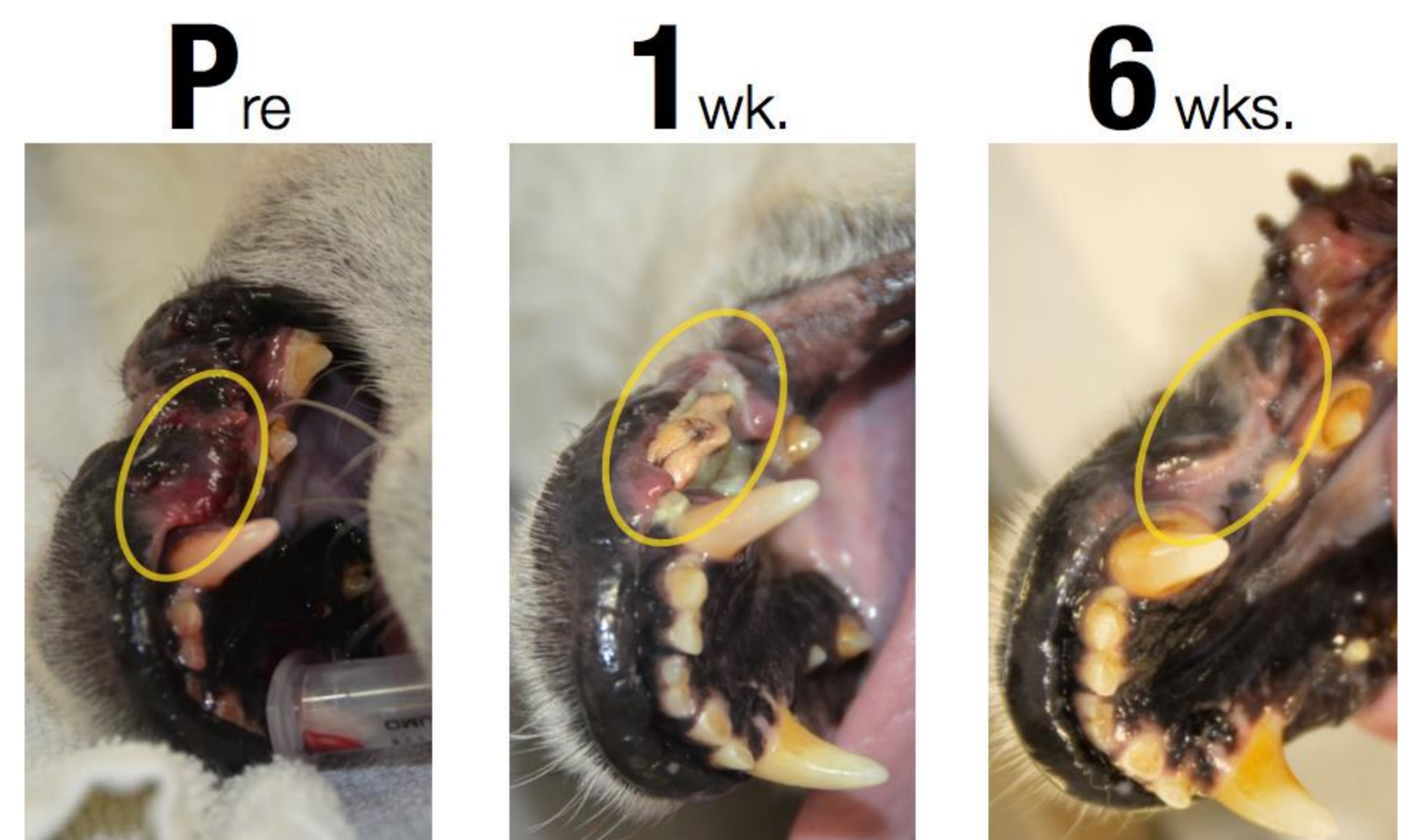
私たちは、連合創薬医療情報研究科および工学部と共同で研究を進めており、これまでに特殊な化学修飾を施したマイクロRNAを用いて、悪性黒色腫の縮小を確認しています。最終的には人の悪性黒色腫への応用や、他の腫瘍や疾患への応用も目指しています。

2 マイクロRNAとは



マイクロRNAとは、長さが20-25塩基程度の短いRNAです。

通常のRNAは蛋白質の設計図となりますが、マイクロRNAは蛋白質を作りません。相補的なメッセンジャーRNAと結合することで、蛋白質の発現を調節します。



活用分野・用途・応用例：

ペットには人に類似した病気が多くあり、現在これらを人の疾患モデルとして研究しようという動きがあります。私たちの動物病院は、腫瘍性疾患の症例数が全国トップクラスであり、これらを用いた研究に非常に適しています。

本研究に関わる知的財産関連情報

特願2013-073192「細胞増殖抑制剤およびがんの予防治・療剤」